

まつり、花、歴史、文化…。
たくさんある北区の魅力をご紹介します。

Seasonal Attractions of Kita City
Festivals, Flowers, History, Culture.
An Introduction to the Many Attractions of Kita City.

北区の 歳時記



つつじの見ごろ (飛鳥山公園)



さくらSA * KASO 祭り (飛鳥山公園)



浮間さくら草祭り (浮間ヶ原桜草圃場)



春のバラフェスティバル (旧古河庭園)



赤羽馬鹿祭り (赤羽)

春



北区花火会 (荒川河川敷)



ふるさと北区 区民まつり (王子・赤羽・滝野川)

秋



イチョウの見ごろ (滝野川公園)



北区伝統工芸展 (北とびあ)



紅葉の見ごろ (名主の滝公園)



アジサイの見ごろ (飛鳥の小径)



公園での水遊び (清水坂公園)

夏



お富士さん (十条富士塚)



熊手市 (王子神社)



王子狐の行列 (装束稲荷から王子稲荷神社へ)



王子田楽 (王子神社)



浮間の伝統行事「マンゴリ」(氷川神社)



稲付の餅搗唄 (道観山稲荷社)



凧市 (王子稲荷神社)



白酒祭 (熊野神社)

冬

自然が豊かで、安らぎを感じるまち、北区



北区 さくらマップ

北区には、古くから桜の名所として知られる飛鳥山公園をはじめ、石神井川沿いや公園、通り沿いなど、桜のスポットが多くみられます。

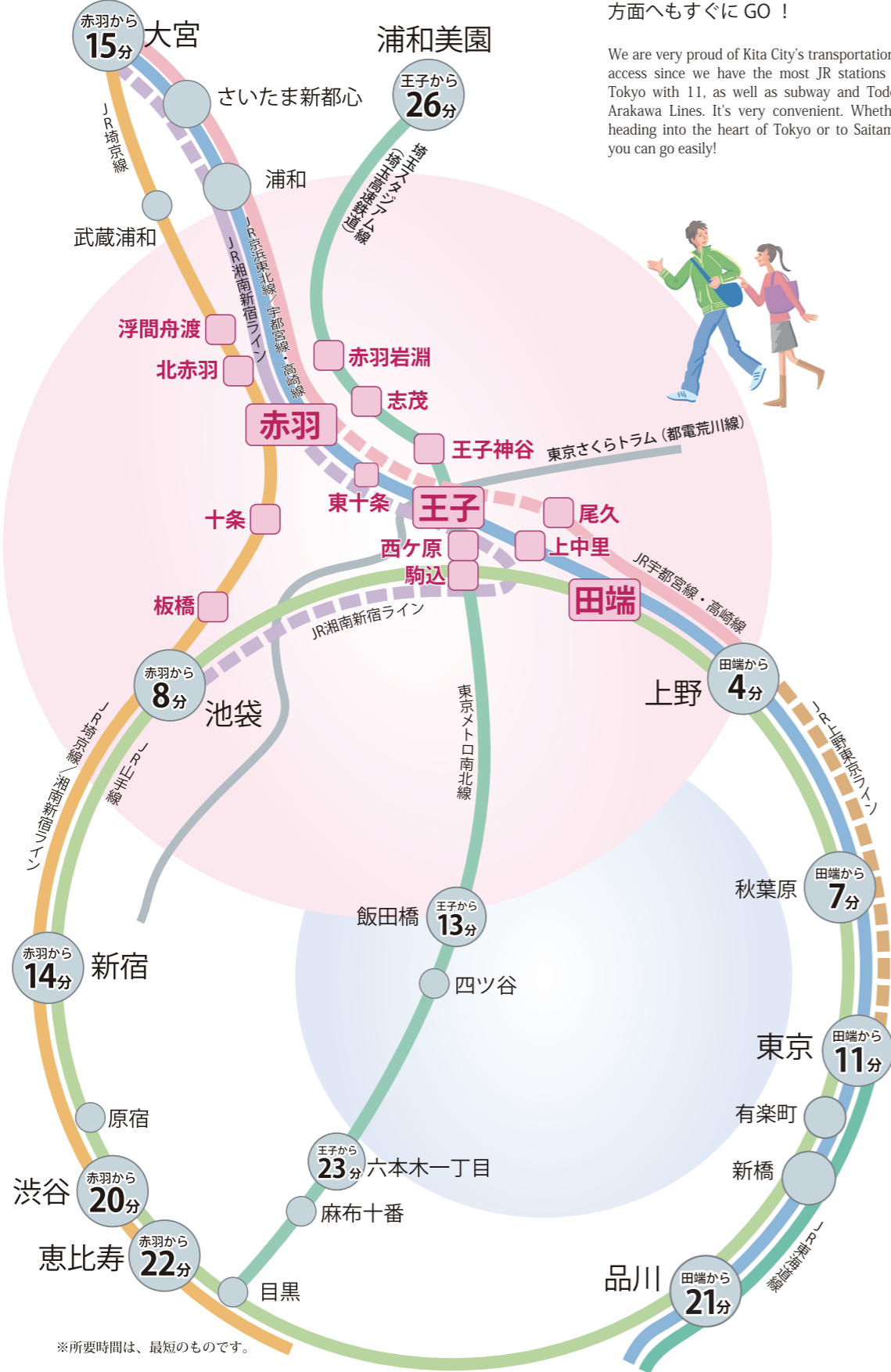
In Kita City, starting with Asukayama Park, known as a famous place for cherry blossoms from long ago, there are many places to see them including roadsides, parks, and riversides of the Shakuji River.



北区アンバサダー大使 Kita City Ambassadors 使

アクセスの良さが自慢の、生活便利なまち、北区

北区からの アクセスマップ



JRの駅数が都内最多の11。地下鉄も都電も走っているからとっても便利。北区は交通アクセスの良さが自慢のまち。都心へも、埼玉方面へもすぐにGO！

We are very proud of Kita City's transportation access since we have the most JR stations in Tokyo with 11, as well as subway and Toden Arakawa Lines. It's very convenient. Whether heading into the heart of Tokyo or to Saitama, you can go easily!



倍賞千恵子氏

女優、歌手

Actress and Singer : Chieko Baisho

東京都生まれ。滝野川第六小学校、紅葉中学校出身。松竹音楽舞踊学校を首席で卒業後、松竹歌劇団（SKD）を経て松竹にスカウトされ、中村登監督作品「斑女」で映画デビュー。山田洋次監督作品「遙かなる山の呼び声」で日本アカデミー賞主演女優賞受賞。平成17年紫綬褒章受章、25年旭日小綬章受章。平成18年就任。



弦 哲也氏

作曲家

Composer : Tetsuya Gen

千葉県生まれ。北区在住。昭和40年歌手デビュー。51年『おゆき』で作曲家デビュー。60年歌手活動にピリオドを打ち、作曲活動に専念。『天城越え』をはじめ総作曲数は2500曲以上にのぼり日本レコード大賞「作曲賞」など数多くの賞を受賞。令和2年音楽生活55周年を迎えた。平成20年就任。



水森かおり氏

歌手

Singer : Kaori Mizumori

北区生まれ。平成7年『おしろい花』で歌手デビュー。14年『東尋坊』、15年『鳥取砂丘』以降「ご当地ソングの女王」と呼ばれ活躍。令和4年に、NHK紅白歌合戦に20回連続の出場を記録。同年、「しぶさわくんの唄」もリリースし、地元を盛り上げる。平成20年就任。

北区内田康夫ミステリー文学賞

平成8年より北区アンバサダーとして活動された作家の内田康夫氏に協力いただき、平成14年に創設しました。授賞式・記念イベントでは、各賞の発表と前年度の大賞作品を舞台化して上演しています。受賞作品（第16回以降）が掲載されたブックレットは、シティプロモーション推進担当課で配布しています。

Kita City Uchida Yasuo Mystery Literature Award

This award was established in April 2002 by soliciting cooperation from Yasuo Uchida acting as the Kita City ambassador since 1996. In the award ceremony and the commemorative event, recipients of each prize are announced and the work winning the grand prize in the preceding year are staged and performed. Booklets containing the award-winning entries (from the 16th event onward) are available at the Manager of City Promotion Section.



舞台化された受賞作品



ブックレット



文学賞特設サイト



内田康夫氏
Yasuo Uchida



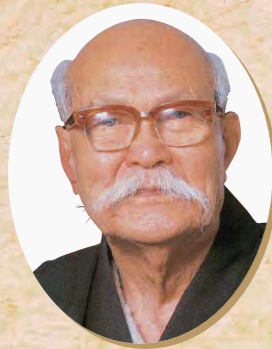
北区のものづくり

日々の生活の中で使われている便利な製品には、区内の中小企業の技術力が活かされているものが少なくありません。「最先端の技術」を有していたり「次世代の製品開発」を担っている企業には、「独創的な発想力」「世界に誇れる優れた技術力」があります。

Manufacturing in Kita City

Among the convenient products that we use in our daily lives, many have been made utilizing the technological capabilities of small and medium-sized companies in the city. These enterprises, which possess state-of-the-art technology and are taking the lead in next-generation product development, are characterized by creative thinking and excellent world-class technological abilities.

北区名誉区民 Honorary Citizens of Kita City



彫塑家 北村西望氏(きたむら せいぼう)
Seibo Kitamura, sculptor

明治17年長崎県に生まれ、東京美術学校を首席で卒業。大正5年文部省第10回美術展覧会で「晩鐘」が特選となりました。この年から37年間、北区に居住。14年に帝国美術院（現日本芸術院会員）となり、昭和33年に文化勲章を受章、文化功労者に選出され、日展会長、北区美術会名誉会長などを歴任、56年北区名誉区民に選定されました。作品のうち、長崎の「平和祈念像」は世界的にも有名ですが、この原型をもとに造られた2.41メートルの像を北とびあ前にも設置しています。昭和62年逝去。



平和祈念像



彫塑家 北村治禧氏(きたむら はるよし)
Haruyoshi Kitamura, sculptor

大正4年、長崎県に生まれ、その後、北区に居住。昭和12年東京美術学校彫刻科塑造部卒業。在学時の11年文部省美術展覧会において「少女」が初入選。第10回日展に出品した「光る波」は、第24回日本芸術院賞を受賞。55年には日本芸術院会員に任命され、56年日展常務理事、日本彫刻会常務理事となり、61年には勲三等瑞宝章を受章されました。62年日展理事長、平成2年日本彫刻会理事長、北区美術会会長などを歴任、7年に北区名誉区民に選定されました。平成13年逝去。



光る波



鍛金家 奥山峰石氏(おくやま ほうせき)
Hoseki Okuyama, master metal craftsman

昭和12年、山形県新庄市に生まれ、北区には昭和45年以来在住。笠原宗峰氏に弟子入り、田中光輝氏に師事されました。57年日本伝統工芸武蔵野展奨励賞をはじめ、59年伝統工芸日本金工展において文化庁長官賞、平成元年日本伝統工芸展高松宮記念賞、6年伝統工芸新作展三越賞受賞などその技法が高く評価されています。7年重要無形文化財「鍛金」保持者(人間国宝)認定、北区名誉区民に選定、9年紫綬褒章を受章、19年旭日小綬章を受章、日本伝統工芸展鑑審査委員、日本工芸会参与などを歴任されています。また、30年には、高度な鍛金技法を習得し、伝統技法の継承にも尽力していることが高く評価され、名誉都民に選定されました。



打込象嵌花器「滝桜 深深と爛漫」

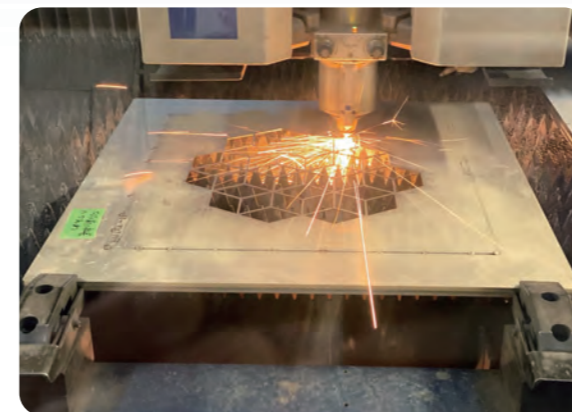


日本文学研究者 ドナルド・キーン氏(どなるど きーん)
Donald Keene, Japanese literature researchers

大正11年、ニューヨーク市に生まれ、北区には昭和49年から居住。コロンビア大学大学院在学中より日本文学の研究に専心し、文学博士号を授与されました。37年に菊池寛賞を受賞。その後、読売文学賞、日本文学大賞、井上靖文学賞、毎日出版文学賞など、数多くの文学賞を受賞。平成5年に勲二等旭日重光章を受章、14年には文化功労者に選出され、コロンビア大学をはじめ、早稲田大学、東京外国語大学などの大学から名誉博士号を授与されています。18年、東京都名誉都民、北区名誉区民に選定、20年文化勲章を受章されました。24年3月に日本国籍を取得。平成31年逝去。



著書「明治天皇」



レーザー加工



缶ビールの蓋をかしめるアタッチメント



型製作



切削加工



段ボール製作用コルゲートマシン

未来に受け継ぐ職人の手仕事

北区の伝統工芸

過去から現在、そして未来へ伝統の「技」を伝える職人たちが北区にいます。「北区伝統工芸保存会」に職人の皆さんが集まり、伝統的な技法や技術を継承し伝統工芸を保存するとともに、制作された伝統工芸品の素晴らしさを広く一般の方にも知っていただくために活動しています。

今なお生活の中に息づく伝統工芸の「美」、職人の「技」をご紹介します。

The Traditional Arts and Crafts of Kita City
The craftspeople of Kita City have handed down their traditional skills from generation to generation, and they will continue to do so. The Kita City Association for the Preservation of Traditional Arts and Crafts was established for craftspeople to gather and pass on their traditional skills and techniques. It also aims to teach the public about the beauty of traditional arts and crafts. This section introduces the beauty of traditional arts and crafts that are still a part of our lives and the skills of the craftspeople.



鑑賞用風絵 水滸伝「帳順水門破り」

江戸文字風絵 Edo moji Tako-e (Edomoji (lettering style) and Picture on Edo Kite)

江戸風の特長、歌川派の華やかな風絵技術を継承



打込象嵌壺「枝垂れ桜」

鍛金 Tankin (Hammering)

金属の凛とした形と輝きの中に、自然の美を映す



浮世絵木版画

葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」

浮世絵木版画

Ukiyo-e Mokuhanga (Woodblock Print of Ukiyo-e)

木版画でしか出し得ない色と表情のある木版美を追求



手描友禅振袖 華王ボタン

東京手描友禅

Tokyo tegaki yuzen (Tokyo Hand-drawn Yuzen)

生地に描き染めていく日本の自然と伝統美



掛軸「奥山峰石書」

江戸表具 Edo Hyogu (Scroll Mounting of Edo)

大切な宝物をていねいに鑑賞・保存するために



「龍の玉」

とんぼ玉

Tombo-dama (Glass Beadmaking)

小さなガラス玉の中に表現する、多彩な世界



あやめ障子

建具 Tategu (Fittings)

木のぬくもりを伝え、部屋の品格を高める手作りの仕事



新版画「紫陽花に雀」
(画家小原古邨)

伝統木版画

Dentou Mokuhanga (Traditional woodcut)

浮世絵木版画の技術を基本に新しい分野の木版画にも挑戦する



丸お猫、おかめの火入れ など

古型今戸人形

Furugata Imado Ningyō (Old-fashioned Imado Dolls)

江戸庶民に愛された土人形を、昔ながらの姿で再現



銀製 帯留 金魚(素銅、赤銅)、
銀製 瓢箪のかんざし

銀細工

Gin zaiku (Silver Work)

粋な遊び心が光る美しい小物たち



縁起福熊手

縁起福熊手 Engi Fuku-kumade (Lucky Bamboo Rake of Good Omen)

福を呼ぶように縁起物を華やかに飾る



三角鉢

陶芸 Togeï (Pottery)

釉薬で描く表情豊かな色彩と模様



ペンダントブローチ、ペンダント、根付など

江戸べっ甲

Edo bekko (Edo Tortoiseshell Work)

上品なべっ甲の輝きに、新たな魅力を施す



太刀 号「迦楼羅」

刀鍛冶 Katana kaji (Swordsmith)

「砂鉄、木炭、炎、土、水」日本の五行が生み出す究極の鋼の美



屋久杉23号

東京仏壇

Tokyo butsudan (Tokyo Buddhist Altar)

木地の持ち味を生かした簡素で荘厳な美しさ



金具(萩、魚、南瓜)、ペンダント

彫金 Chokin (Chasing)

コツコツと打ち出し、彫り込み、愛すべき宝物が生まれる



陶器 染付皿

染付 Sometsuke (Dyeing)

器に描いた文様を鮮やかに染め付ける



第30回北区伝統工芸展全体写真

浮世絵に残された 北区の風景

江戸時代の北区域は、飛鳥山のさくら、滝野川の紅葉、王子稲荷の初午など、四季折々の風物を楽しむことができる名所として知られ、気晴らしを求める江戸の庶民でにぎわいを見せていました。

それらの名所は浮世絵の恰好の画題となり、多くの絵師の手で繰り返し描かれました。浮世絵に描かれ、広く人々の目にふれることによって、飛鳥山などの名所はさらに知名度を高めていったのです。

そして明治時代以降、近代化の波の中で北区域の風景は変わっていきませんが、名所としての性質は失われず、浮世絵の流れをくむ風景版画に描かれ続けました。

現在、北区域を描いた浮世絵などの版画は400点以上も確認されており、かつての風景とその魅力を今に伝えてくれています。

Scenes of Kita City as Depicted in Ukiyo-e
During the Edo Period, the area that is now Kita City was known as a place to enjoy seasonal events such as the cherry blossoms in Asukayama, the fall leaves of Takinogawa and the Hatsuuma Festival at Oji Inari Shrine. Thus, the area was always bustling with common people looking for fun and relaxation. Such scenic locations were perfect subjects for Ukiyo-e, and many artists depicted them. Because places such as Asukayama featured in Ukiyo-e and many people saw these prints, they became even more famous.

From the Meiji Era on the waves of modernization brought change to Kita City, but the fame of its sites did not change and they have continued to be depicted in woodblock prints that carried on the tradition of Ukiyo-e. Today, over four hundred Ukiyo-e and other woodblock prints with scenes from Kita City have been identified and they depict the attractive bygone scenery.

王子



東都三十六景 王子稲荷
Toto Sanjurokkei Oji Inari

歌川広重(二代)画 文久2年(1862)
江戸時代、稲荷信仰の流行を背景に、王子稲荷には多くの参詣客が訪れました。玉垣に沿って流れる用水や石段脇の滝は見られなくなりましたが、赤い玉垣や急な石段、高台の社殿や背後の石垣は現在も変わらず残っています。



江戸名所年中行事 王子初午詣
Edo Meisho Nenchu-gyoi Oji Hatuumamoude

歌川広重画 江戸後期 うちわ絵
関東の稲荷の代表格として江戸庶民の信仰を集めた王子稲荷ですが、毎年初午の日は特ににぎわいました。二人の女性は参詣の帰り道か、籠籠に王子みやげの狐の紙人形や麦こがしを載せて、早春の田園風景を楽しんでいます。

滝野川

武蔵百景之内 王子瀧の川
Musashi Hyakkei-no-uchi Oji Takinogawa

小林清親画 明治17年(1884)
現在は高い護岸に囲まれている石神井川ですが、かつてはうっそうと樹木が生い茂り、溪谷の雰囲気感を漂わせていました。川沿いには私設の庭園が設けられ、秋には紅葉狩りを楽しむ人々が大量訪れました。



東都名所 王子瀧の川 Toto Meisho Oji Takinogawa

歌川広重画 天保11~13年(1840~42)頃
夏の滝野川は、石神井川での滝浴みや川遊びを楽しむ人々ににぎわいました。画面右側にある祠は岩屋弁天で、紅葉寺(金剛寺)の裏手(現在の音無もみじ緑地)にあり、滝野川の名所の一つでした。



飛鳥山

飛鳥山花見
Asukayama hanami

勝川春潮画
天明期(1781~89) 三枚続
飛鳥山の伸びやかな丘陵を背景に、飛鳥山碑の周囲で若い娘たちや武士、物売りなど、さまざまな人々が花見を楽しむ様子が描かれています。江戸中期の大らかな雰囲気とともに、当時の花見風俗もうかがい知ることができる作品です。



古今東京名所 飛鳥山公園地王子製紙会社
Kokon Tokyo Meisho Asukayama Koenchi Oji Seishigaisha

歌川広重(三代)画 明治16年(1883)
徳川八代将軍吉宗によって花見の名所となった飛鳥山の地は、維新後の明治6年、上野公園などとともに日本最初の公園として指定されました。飛鳥山から見える工場の煙突も、文明開化を示す光景として人々を喜ばせました。

赤羽

名所江戸百景 川口のわたし善光寺
Meisho Edo Hyakkei Kawaguchi-no-watasi Zenkoji

歌川広重画 安政4年(1857)
岩槻街道(日光御成道)の道筋にあたる岩淵と川口は渡し船がつかないでいました。画面下部が岩淵側、上部が川口側で、荒川の中央には木材を運ぶいかだが連なって下り、渡し船がいかだを横切るように画面右側に描かれています。



川口善光寺雨晴
Kawaguchi Zenkoji Usei

小林清親画 明治12年(1879)
岩淵の渡し場は現在の荒川大橋の少し上流にありました。雨上がりの夕暮れ空が川面を赤く染めるなか、対岸の川口善光寺に詣でた帰りなのか、人力車と数人の客が渡し船で岩淵の渡船場に戻ってくる情景が描かれています。



浮世絵とは?

浮世絵は江戸時代に発展した絵画で、当時の世相や風俗を主な画題としました。浮世絵には肉筆画と木版画がありますが、特に木版画において発展しました。なかでも明和期(1764-72)のはじめに登場した多色摺りの木版画は「錦絵」とも呼ばれ、現在も浮世絵の代名詞になっています。

What is Ukiyo-e?

Ukiyo-e is a popular art form that developed in the Edo Period. Their main subjects were contemporary events and entertainment. Although there are both hand-painted and woodblock print Ukiyo-e, the woodblock print form was especially highly developed. The multicolored woodblock prints which emerged in the early Meiji Era (1764-72) were known as Nishiki-e and today are synonymous with Ukiyo-e.

時の道標

北区歴史年表

約3万年前
旧石器時代

赤羽台で石器が使われる
(赤羽台遺跡で区内最古の石器が出土)



中里貝塚貝層

約1万2000年前
縄文時代

前期 西ヶ原で大型定住集落が営まれる
(七社神社前遺跡)
中期 中里貝塚が形成される
中里で丸木舟、縄文土器が使われる
(中里遺跡出土)
後期 西ヶ原で土偶が使われる(東谷戸遺跡出土)
西ヶ原貝塚が形成される
(平成14年に人骨が出土)



東谷戸遺跡出土 土偶



七社神社前遺跡出土 鉄剣

3世紀前半
弥生時代

中期 環壕集落が営まれる(飛鳥山遺跡・亀山遺跡)
後期 方形周溝墓が造られ、鉄剣(田端西台通遺跡出土)や鉄釧(七社神社前遺跡出土)などが副葬される



豊島馬場遺跡出土
ガラス小玉鋳型



田端不動坂遺跡出土 珠文鏡

73世紀半ば
古墳時代

前期 隅田川沿いに低地集落が営まれ、ガラス小玉鋳型などが使われる(豊島馬場遺跡出土)
田端で青銅鏡が使われる(田端不動坂遺跡出土)
後期 赤羽台古墳群、十条台古墳群、飛鳥山古墳群などが形成される

古代

7世紀後半～9世紀後半 西ヶ原に武蔵国豊島郡衙が創設され、律令制下における地方役所が整備される(御殿前遺跡)
10世紀頃 桓武平氏秋父流の豊島氏が郡司の権限を継承し、豊島郡を支配



木造豊島清光坐像



木造太田道灌坐像

中世

1180(治承4) 源頼朝挙兵に豊島清光が参加
1189(文治5) 源頼朝奥州征伐に豊島清光・葛西清重が参加
1321～24 豊島氏の支配権が豊島・足立・多摩・児玉・新座の各郡に及ぶ
(元享年間)
1477(文明9) 太田道灌と豊島氏一族が江古田、沼袋で合戦(翌年1月に武蔵豊島氏本流は滅亡)
1486(文明18) 太田道灌が主家上杉定正によって謀殺される(関東支配をめぐる北条氏、上杉氏ら諸氏の対立が激化)
1552(天文21) 戦国大名北条氏康が武蔵国一円を支配
1590(天正18) 北条氏直が豊臣秀吉に降伏、徳川家康が江戸に入府



葛飾北斎画 東都勝景一覽(寛政12年)

近世
江戸時代

1634(寛永11) 幕府が王子権現社、王子稲荷社、別当金輪寺を造営
1716(享保元) 滝野川の野菜の種が有名になる
1720(享保5) 徳川吉宗が飛鳥山に桜を植樹する
1789(寛政元) 王子稲荷の参詣が流行
1815(文化12) 遊歴雑誌に滝野川の紅葉が名勝地に挙げられる
1854～60 名主畑野孫八が名主の滝を開く
(安政年間)

近現代

1868(明治元) 田端、中里、上中里、西ヶ原、滝野川村が東京府へ編入
1871(明治4) 王子、豊島、十条、岩淵本宿、赤羽、袋、稲付、下、神谷村が東京府へ編入
1876(明治9) 大蔵省抄紙部王子工場が操業を開始
1883(明治16) 上野、熊谷間に鉄道が開通し、王子駅が開設
1885(明治18) 赤羽駅が開設。以後、各駅が順次開設
1889(明治22) 北区域が1町2村(岩淵町、王子村、滝野川村)制になる
1904(明治37) 滝野川村に醸造試験所を設置
1908(明治41) 王子村が王子町に改称し、町制がスタート
1911(明治44) 現在の都電荒川線の前身である王子電気軌道株式会社の飛鳥山上、大塚間が開通
1913(大正2) 滝野川町制がスタート
1924(大正13) 旧岩淵水門が完成
1926(大正15) 埼玉県北足立郡横曽根村大字浮間が岩淵町に編入
1932(昭和7) 東京市に岩淵、王子両町が合併した王子区と滝野川区が発足
1945(昭和20) 空襲により王子区役所が全焼
王子区の約43%、滝野川区の約78%が戦災により焼失
1947(昭和22) 王子、滝野川両区が合併し、北区制がスタート
1965(昭和40) 環状7号線が区内に開通
1982(昭和57) 新岩淵水門が完成
1985(昭和60) 東北・上越新幹線が、上野駅始発に伴い区内を縦断する埼京線開業
1990(平成2) 北とぴあオープン
1991(平成3) 駒込、赤羽岩淵間に地下鉄南北線が開通
1993(平成5) 北京市宣武区友好交流都市提携
田端文士村記念館オープン
1997(平成9) 友好都市交流協定締結(山形県酒田市、群馬県中之条町・甘楽町)
1998(平成10) 北区飛鳥山博物館(飛鳥山3つの博物館)オープン
2002(平成14) 首都高速中央環状線「王子北出入口」が区内に開通
2008(平成20) 中央図書館オープン
2015(平成27) 東京上野ライン開業
文化芸術活動拠点ココキタオープン
首都高速中央環状線「王子南出入口」開通
2017(平成29) 東京北区観光協会設立
赤羽体育館オープン
区政70周年を迎える
ウォルナットクリーク市と「パートナーシティ協定」締結
2018(平成30) 北区の人口が25年ぶりに35万人を突破
2019(令和元) 渋沢栄一が新一万円札の肖像に採用されることが決定
公益財団法人渋沢栄一記念財団・東京商工会議所・深谷市を含む6者で「渋沢栄一翁の顕彰に関する包括連携協定」を締結
2021(令和3) 渋沢×北区 青天を衝け 大河ドラマ館 開館/閉館
渋沢×北区 飛鳥山おみやげ館オープン
2023(令和5) 飛鳥山公園にP-PFIを活用したカフェレストランオープン



東京従上野山下中仙道往復蒸気鉄道之図



王子電気軌道(現在の栄町付近)
「わが街 わが都電」(東京都交通局)より



岩淵水門通水式記念写真



北区役所(昭和26年)



「渋沢栄一翁の顕彰に関する包括連携協定」を締結(令和元年)



渋沢×北区 青天を衝け 大河ドラマ館(令和3年)